

東京医科大学雑誌投稿規定

(昭和3年9月)

(昭和47年2月改正)

(昭和49年7月一部改正)

(昭和53年6月一部改正)

(昭和54年1月一部改正)

(昭和60年1月一部改正)

(平成7年1月一部改正)

(平成8年1月一部改正)

(平成14年1月一部改正)

(平成28年1月一部改正)

(令和3年1月一部改正)

1. この学術雑誌は東京医科大学医学会会員の原著、総説、症例・臨床報告、特別講演・最終講義、プラザ、本学で行なわれるシンポジウム・学会・研究会の報告、資料などを掲載し、医学・医療・医学教育並びに一般教育における研究等の成果を発表することを目的とする。東京医科大学雑誌編集委員会(以下「編集委員会」という)が執筆を依頼したものについては本会員でなくても掲載する。
2. 本誌は編集委員会が編集する。
3. 人を対象とする研究においてはヘルシンキ宣言(2013年10月)を遵守し、動物を対象とする実験研究では東京医科大学動物実験規程(平成19年6月4日制定)を遵守し、博愛の精神に基づき実験を行なった結果であるものとする。法的あるいは倫理的に審査が必要とされる研究については、研究を実施する施設の倫理委員会や動物実験委員会などにおいて承認を得ていることとし、論文中に承認番号などを明記する。
4. 論文投稿にあたっては、論文の研究について、他者との利害関係の有無を記載した利益相反(COI)自己申告書を提出する。論文の採否には影響しないが、他者との利害関係の有無に関して論文の本文末尾、引用文献の前に記載される。
 - 1)利益相反がない場合は、本論文の研究内容に関する他者との利害関係について「特に申告なし」と記載する。
 - 2)研究内容に関わる助成や支援があった場合は、例として「著者の利益相反conflict of interest (COI) 開示:東医太郎:研究費・助成金(××製薬)」などと記載する。
5. 投稿原稿は、邦文または英文とし、オリジナル1部、コピー2部を提出する。
6. 論文投稿に際しては、所定の誓約書および投稿論文チェック表を提出する。
7. 原著論文は独創性があり、内容が過去に他誌に掲載されたものではなく、現在投稿中もしくは掲載予定でないものに限る。
8. 本誌に掲載された論文等の著作権は東京医科大学医学会に帰属する。
9. 本誌は年4回(1~4号)の他、年1回の特別号として学術業績集を発行する。原著、総説、症例・臨床報告、特別講演、最終講義、研究会報告、学会報告以外においてはプラザに掲載する。
10. 掲載の採否については編集委員会において決定する。
11. 掲載順序は原則として受理月日順とする。
12. 論文の構成は原則として次の順序に構成するが、医科学以外の論文に関してはこの限りではない。
〔邦文論文〕①表題、②執筆者・所属、③キーワード、④要旨、⑤はじめに、⑥研究材料および方法、⑦結果(成績)、⑧考察、⑨結論、⑩文献表、⑪図表の説明、⑫英文による表題・執筆者・所属・要旨・キーワード
なお英文論文は邦文論文の執筆方法に準じ、日本語要旨をつける。総説、特別講演、最終講義、症例報告、臨床報告、プラザ、その他については英文抄録を省くことができるが、タイトルと執筆者名の後に英文を付ける。

13. 原稿の長さとしり上がりページ数

種 類	本文・文献・図表の説明	図・表・写真	刷り上がり ページ数
	ワードプロセッサー A4 白紙ダブルスペース		
I. 原著, 総説, 特別講演, 最終講義	40 枚以内	10 個以内	10 ページ以内
II. ミニレビュー, 症例報告、臨床報告, プラザ、その他	15 枚以内	5 個以内	4 ページ以内

原稿枚数(40 枚以内・15 枚以内)には図・表・写真を含める。パソコンを使用の場合はA4 版白紙にダブルスペースで打つこと。なお原則としてUSBなどの記録媒体を添付する。原稿用紙4 枚が刷り上がり1 ページとなる。

以上の枚数を原則とするが、止むを得ぬ場合

「I」に関しては、5 ページの超過を認めるが、原著の場合、超過頁料金を徴収する。

「II」においては、4 ページを超えた場合は超過頁料金を徴収する。

14. 掲載費用

				1 ページの金額	
				著者負担	医学会負担
原著 総説	医科学 原著	モノクロ	規定内 (10 ページ以内)	5,000 円	3,500 円
		カラー	規定超過 (11 ページ～15 ページ)	8,500 円	－
	医科学 原著以外	モノクロ	規定内 (10 ページ以内)	5,000 円	3,500 円
		カラー	規定超過 (11 ページ～15 ページ)	8,500 円	－
ミニレビュー・ 臨床報告・症例報告 プラザ・その他		モノクロ	規定内 (4 ページ以内)	5,000 円	3,500 円
		カラー	規定超過 (5 ページ以上)	8,500 円	－
依頼原稿		特別講演・最終講義・ミニレビュー・臨床懇話会・ 研究会報告など モノクロ、カラーページ共に。		全額、医学会負担	
別刷費用	依頼原稿		著者負担		

15. 掲載費用は医科学原著論文を投稿した場合は著者負担とする。

医科学原著以外の論文については医学会負担とする。

カラーページ、超過ページ、別刷費用については前表による。

16. 別刷を必要とする場合、必要部数を原稿の表紙に明記する。別刷の費用は執筆者負担とする。

依頼原稿については 30 部まで無料とし、31 部以上は著者負担とする。

17. 論文作成・投稿に際しては最新の 1 号と特別号に記載される「執筆にあたっての留意事項及び論文入力の留意事項」を厳守する。

18. 校正は執筆者の責任において行ない、再校までとする。返送期日を厳守し、校正は誤植のみにとどめ、新たな加筆訂正はできない。

附則 この規定は 令和 3 年 1 月 1 日から施行する。

－記録媒体による論文入力の留意事項－

査読終了後の完成論文を記録媒体で提出することにより、印刷期間の短縮と制作費の低減につながりますのでご協力下さい。

電子データ提出について

1. 使用記録媒体の種類は特に定めません。
2. 使用 OS: Windows または Macintosh
3. ファイル保存形式: テキスト形式と使用ソフトの保存形式の両方。
4. Table や Fig. を表計算ソフトやドロー系ソフトで作成した場合には、そのソフト名とバージョンを記録媒体に明記して下さい。
5. 必ずバックアップを取って置いて下さい。(郵送中にデータ破損などが予測されます。)
6. 記録媒体には論文受理後訂正の済んだ最終原稿を保存し、論文以外の他の文書等が保存されていないようにして下さい。
7. 記録媒体のラベルには次のことを記入して下さい。
 - ・論文タイトル
 - ・作成者氏名
 - ・所属
 - ・使用 OS
 - ・使用ソフト
 - ・提出年月日
6. 表計算ソフトやデータベースソフトのデータは一部変換できないものがあります。テキスト形式にして保存して下さい。
7. 記録媒体への文書保存は、使用したソフトのファイル形式と、テキスト形式の両方を保存し提出して下さい。

プリントアウトについて

1. 「表紙」「要旨」「はじめに」「研究材料および方法」「結果(成績)」「考察」「結論」「謝辞」「文献」「脚注」「Fig. 説明文」「Table」「Fig.」「英文要旨または日本語要旨」などに分け、各項目ごと改ページにしてプリントアウトして下さい。
2. プリントアウトの書式設定は A4 判で上下の余白をそれぞれ 25 mm ずつ、左右はそれぞれ 30 mm ずつ余白を付けて下さい。
3. フォントサイズは 12 ポイントを使用、文字間隔を広げたり、狭めたりしないで下さい。
4. Figure や Table などレーザープリンターできれいに出力されたものであれば、そのまま写真製版することができます。その場合、文字のサイズは 7 ポイント程度に縮小されることを考慮して文字サイズを決めて下さい。例えば 14 ポイントの文字は 50% に縮小、10 ポイントは 70% に縮小されることを目安として下さい。
5. フォントの種類は、和文は明朝体、英文は Times New Roman 体を使用して下さい。
6. Figure や Table などへの網かけは避けて下さい。
7. 写真はデジタルデータで提出することも可能ですが、ビットマップやピクトの 600 dpi 以上でないと印刷品質が保てません。JPEG など高圧縮データは避けて下さい。写真のプリントアウトは写真用光沢紙で高品質出力したものか、写真店にて高品質プリントしたものを添付して下さい。
8. Figure や Table の挿入希望箇所は本文のプリントアウトの右側余白に指定して下さい。

データ入力について

1. 数字とローマ字はすべて半角で入力し、それ以外の和文は全角で入力して下さい。
2. 改行 (Enter) は段落の終わりのみ入力し、文章中の各行毎には絶対に入力しないで下さい。
3. テキスト形式では、肩付き文字、下付き文字、イタリック体、アンダーライン、外字、特殊文字などはキャンセルされますので、それらの文字等はプリントアウトにマーカーで指示を書き込んで下さい。
4. 句読点はコンマ (,) とピリオド (.) を使用して下さい。
5. ー (ダッシュ) と- (ハイフン)、× (カケル) と X (エックス)、1 (イチ) と 1 (エル)、O (オー) と 0 (ゼロ) など区別して入力して下さい。

症例報告を含む医学論文における患者プライバシー保護に関する指針

平成 20 年 1 月
東京医科大学雑誌編集委員会

医療を実施するに際して患者のプライバシー保護は医療者に求められる重要な責務である。一方、医学研究において症例報告は医学・医療の進歩に貢献してきており、国民の健康、福祉の向上に重要な役割を果たしている。医学論文あるいは学会・研究会において発表される症例報告では、特定の患者の疾患や治療内容に関する情報が記載されることが多い。その際、プライバシー保護に配慮し、患者が特定されないよう留意しなければならない。

平成 17 年 4 月 1 日より個人情報保護関連 3 法が施行されたことに伴い、東京医科大学雑誌に掲載される症例報告を含む医学論文については、以下の指針を遵守し、患者プライバシー保護に努めるものとする。

1. 患者個人の特定が可能となる氏名、カルテ番号、入院番号、イニシャルまたは「呼び名」等は記載しない。
2. 患者の住所は記載しない。但し、疾患の発生場所が病態等に関与する場合は区域（神奈川県、横浜市など）までに限定して記載することを可とする。
3. 日付は、臨床経過を知る上で必要となることが多いので、個人が特定できないと判断される場合は年月までは記載してもよい。
4. 既に他院などで診断・治療を受けている場合、その施設名ならびに所在地を記載しない。但し、救急医療などで搬送元の記載が不可欠の場合はこの限りではない。
5. 顔を含む写真を提示する際には個人が特定出来ないように目を隠す。眼疾患の場合は、顔全体が分からないよう眼球部のみの拡大写真とする。
6. 症例を特定できる生検、剖検、画像情報に含まれる番号などは削除する。
7. 以上について配慮することはもとより、個人の特定化の有無にかかわらず、発表に関する同意を患者自身（または遺族か代理人、小児では保護者等）から得る。
8. 前項の手続きが困難な場合は、筆頭著者の所属する施設における倫理委員会もしくは本学医学倫理委員会の承認を得ることが望ましい。
9. 臨床研究など医学系研究の個人情報の取り扱いについては、「臨床研究に関する倫理指針」（厚生労働省）（平成 20 年 7 月 31 日改正）による規定を遵守する。
10. 疫学研究に関しては、「疫学研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）（平成 19 年 8 月 16 日改正）による規定を遵守する。
11. 遺伝子疾患やヒトゲノム・遺伝子解析を伴う症例報告では「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）（平成 16 年 12 月 28 日改正）による規定を遵守する。

【誓 約 書】

東京医科大学医学会
編集委員会 御中

論文名

表記投稿論文は、その内容が今まで他誌に掲載されたことがなく、投稿予定のものでもありません。

本論文は倫理指針に準拠し、データの捏造および剽窃についても行われていないことを誓います。また、利益相反（COI）については、自己申告書に相違ありません。

表記論文が、東京医科大学雑誌に掲載された場合は、その著作権が東京医科大学医学会に帰属することを承諾致します。

年 月 日

筆頭著者署名

1. _____

6. _____

2. _____

7. _____

3. _____

8. _____

4. _____

9. _____

5. _____

10. _____

*全著者の自筆署名を筆頭著者、共著者の順に列記してください。

投稿論文チェック表

年 月 日

☐にチェックを入れ、誓約書とともに論文の一番上につけてご投稿下さい。

筆頭著者名 _____ 所 属 _____

責任者署名 _____

論 文 題 名 _____

原稿種類： ☐ 原著 ☐ 原著(学位論文) ☐ 総説 ☐ ミニレビュー ☐ 症例・臨床報告
☐ プラザ ☐ その他 ()

- ☐ 論文の構成は整っていますか。 ☐ 該当しない。
(和文原著の場合…表題、要旨、はじめに、研究材料および方法、結果(成績)、考察、結論、文献、図表説明、英文要旨)
- ☐ 表題ページから通しでページ番号が記載されていますか。
- ☐ 所属(別冊請求先)と連絡先が異なる場合、連絡先の住所・所属・TEL・FAXを記載していますか。
- ☐ キーワードは適切なものが記載されており、英和両方揃っていますか(各5語以内)。
- ☐ 和文要旨、英文要旨はありますか。
- ☐ 略語を使用する場合は、初出時にスペルアウトし、以下を(…と略す)と断りを入れていますか。
- ☐ 文献は引用順になっていますか。
- ☐ 文献記載方法に誤りはありませんか。
- ☐ 図表の説明(legend)は別紙になっていますか。
- ☐ 図表(写真)の挿入箇所は、本文原稿の右欄外に赤ペンで指示していますか。
- ☐ 図表(写真)の裏に執筆者名、図・表番号、天地の指示、カラー掲載を希望する場合には、その旨を明記していますか。
- ☐ 誓約書は添付していますか。
- ☐ 責任者または指導者のチェックを受けていますか。また、全ての著者に投稿の了承と同意を得ていますか。
- ☐ 患者のプライバシー保護に関しては、東京医科大学雑誌の指針に準拠していますか。 ☐ 該当しない。
- ☐ 動物実験の研究では大学動物実験規程(平成19年6月4日制定)を遵守していますか。 ☐ 該当しない。
- ☐ 利益相反(COI)に関して自己申告書の添付していますか。
- ☐ 著者は全員本学会員で会費は納入済みですか。
- ☐ 論文はオリジナル1部とコピー2部がそろっていますか。
- ☐ その他、投稿規定の各項目について、もう一度ご確認下さい。

東京医科大学雑誌 利益相反(COI)自己申告書

筆 頭 著 者		施 設 名 所 属 名	
投 稿 論 文 名			

(投稿時から遡って過去1年以内の発表内容に関する企業・組織または団体とのCOI状態を記載してください。なお、共著者についても記載して提出してください。)

項 目	該当の状況	(有)の場合、筆頭者および共著者の氏名:企業名などの記載
企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職など報酬額 (1つの企業・団体から年間100万円以上を記載)	有 ・ 無	例. 東医太郎:●●●株式会社 東医次郎:◆◆◆製薬株式会社
株の保有および利益 (1つの企業から年間100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載)	有 ・ 無	
企業や営利を目的とした団体から知的財産権使用料として支払われた報酬 (1つにつき年間100万円以上を記載)	有 ・ 無	
企業や営利を目的とした団体から支払われた講演料・原稿料・指導料など (1つの企業・団体からの年間合計50万円以上を記載)	有 ・ 無	
企業や営利を目的とした団体が提供する研究費(委託受託研究、共同研究)・助成金など (1つの企業・団体から支払われた年間総額が100万円以上を記載)	有 ・ 無	
企業や営利を目的とした団体が提供する奨学(奨励)寄付などの総額 (1つの企業・団体から支払われた年間総額が100万円以上を記載)	有 ・ 無	
企業や営利を目的とした団体が提供する寄附講座、産学連携講座との関連の有無 (企業などからの寄附講座に所属している場合に記載)	有 ・ 無	
研究とは無関係な旅費、贈答品などの受領 (1つの企業・団体から年間5万円以上を記載)	有 ・ 無	

(本COI申告書は論文掲載後3年間保管されます。理由なく東京医科大学雑誌編集委員以外が閲覧することはありません。)

申告日(西暦) 年 月 日

責任著者 (corresponding author /論文指導者)

(署名) _____ ⑩